

第166回日本獣医学会学術集会
「高校生 獣医学サイエンスフォーラム」の案内

1. 開催期間

市民講座:高校生 獣医学サイエンスフォーラム: 2023年9月5日(火)~18日(月)(予定)

学術集会 HP: <https://166.jsvsmeeeting.jp/>

2. 運営・問い合わせ先

東京農工大学府中キャンパス 4号館1階

〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8

農学部共同獣医学科獣医病理学研究室 吉田敏則

Tel: 042-367-5874 Fax: 042-367-5771

Email: 166jsvs@m2.tuat.ac.jp

※メール送信時は、メールのタイトルに「高校生獣医学サイエンスフォーラム」と記載してください。集会に関する問い合わせが多数届きますのでご協力お願い致します。

3. 開催様式:web 開催

プログラム・要旨集:学術集会 HP にて公開

オンデマンド配信:学術集会 HP にて公開

発表内容に対する質問箱:google form にて受付予定(後日、発表高から学術集会 HP にて回答予定)

参加費:無料(発表、閲覧とも)

4. 市民講座:高校生 獣医学サイエンスフォーラム

「高校生 獣医学サイエンスフォーラム」では、動物等に関する様々な研究内容や獣医学に関する諸問題に対する提案を、高校生ならではの視点で思考し、仲間と議論し、発表内容をとりまとめ、全国の高校生がともに集い、活発な意見交換を行う場としたいと考えております。以下のカテゴリーは大分類、小分類からなりますが、少し難しいテーマもあるので、厳密にそのテーマ(サブテーマ)に沿っている必要はありません。あくまでに獣医学に興味をもってもらうきっかけ、日頃の動物等に関する疑問に対する整理の機会となればと思います。高校での日頃の探求活動の成果をぜひ発表してください!

募集内容:

A. 生き物全般(環境・生態系も含む)に関する自由研究

A1. 産業動物分野(例:馬、牛、豚、山羊、羊などの飼育、繁殖、病気などの聞き取り調査)

A2. 伴侶動物分野(例:犬、猫などを飼育している時の行動観察、餌・水の摂取、遊び道具の使い方、飼い主ならではの気づき、病気になった時の動物病院獣医師とのやりとり、診断書(臨床、病理)の理解にチャレンジなど。さらに各自で飼育している動物の観察結果の比較探求も

あり)

A3. エキゾチックアニマル分野(例:ウサギ、ラット、マウス、ハムスター、カエル、ヘビなど(A2の括弧内に準ずる)

A4. 動物園動物、水族館の魚類、海獣など(例:動物園等での継続的な観察、飼育員との交流。飼育下と野生環境での比較探求)

A5. 学校飼育動物(例:動物等は A1～A3 と重複するかもしれませんが。また、飼育担当者による共同観察)(A2 の括弧内に準じる)

A6. その他

※動物だけでは、発表内容が限定されるので、広く生き物や生き物が生息する環境・生態系に関する内容も含めて考えてみてください！ 選択に迷う場合は、A6 としていただければ、事務局で調整させていただきます。

B. 獣医学に関する諸問題の解決のための提案

B1. 地震、大雨、台風等の天災時における家畜、伴侶動物の管理

B2. 家畜・家禽の感染症対策(豚熱、鳥トリインフルエンザなど)

B3. 牛乳乳製品の余剰問題と消費拡大

B4. 伴侶動物の高齢化問題と対策(ヒトの高齢化問題との関連性も可)

B5. 動物園、水族館の在り方と活用方法

B6. 野生動物との共生(保護動物と害獣の側面から、ジビエなど)

B7. 飼育動物の動物福祉

B8. その他、高校生からの課題の提案

※少し難しい内容ではありますが、獣医系大学の教育課程や将来、獣医師として働く場合の課題にもなりますので、ぜひチャレンジしてください！

C. 高校と獣医系大学の高大連携に関する高校生からの提案(受験案内、オープンキャンパス、入試、広大連携講義・実習等に関する要望など)

※いわゆる探求課題とは異なりますが、個人、グループなどで獣医系大学に対する自由な提言などを期待しています。

※発表内容の例(上記と重複しますが・・・):

(イ) 日頃の動物等(生き物全般)の観察記録:個人またはサークル等で飼育している動物の日常、行動観察、糞の状態、病気の観察・診察記録等)

(ロ) 個人で飼育している犬や猫、ハムスターなどのグループでの比較研究

(ハ) 行政、自治体、酪農家、動物病院、動物園、水族館等の HP、書籍からのとりまとめを基にした現状の把握、問題の整理、改善に向けた提案(URL、引用先を明記すること)、

(ニ) (ロ)の施設への聞き取り調査、意見交換のとりまとめ

(ホ) 海外の HP なども参考にして、国内の現状と比較

(ヘ) この探求は他の動物種にも応用できるかも！

(ト) 調査の方法や発表資料の作成等については、随時、相談受け付けます。

5. 募集要項

- 1) 募集時期:2023年4月17日～8月31日。
- 2) 応募資格:高校、高専在学生
- 3) 申込:要旨(A4、1枚以内の発表内容まとめ、書式自由)を**事務局メール**まで提出してください。また、下記の**応募フォーム**にて高校名、発表者(個人、グループ、サークルなど)を記述し、募集内容(A, B, C など)については各項から選択して明記してください。要旨の内容については、事務局で査読し、必要に応じて発表者と調整させていただきますのでご了承ください(査読ポイント:適切なタイトル、論理的な記述、専門用語の使い方など。アイデアは尊重します!)

応募フォーム

- 4) 発表様式:作製した動画(5～10分程度)を所定の期間、オンデマンド配信します。パワーポイント(ワイド画面を推奨)の動画作製機能、zoomなどの録画機能、また、教室の黒板・ホワイトボード等での説明をハンディカメラ、スマホなど利用して撮影・編集して、mp4で動画を作製してください。
- 5) 注意点:引用元の著作権に十分注意してください。引用元は必ず明記してください(URLまたは著者、作品名、出版元、出版年)。発表に含まれるアイデアは発表者(個人またはグループ)に帰属します。
- 6) 発表動画の提出:**8月1日～31日**。提出いただいた動画のサイズ、ピクセル、音声等は事務局で確認して、必要に応じて発表者と調整させていただきますので、ご了承ください。提出方法は、発表者に追ってご連絡致します。
- 7) 賞:優秀な発表には以下の賞を授与する予定です(賞状)。
 - ① 各種賞:最優秀発表賞、優秀発表賞、奨励賞など
 - ② 選考方法:農工大共同獣医学科の選考委員により審査、高校生・一般の方による投票、あるいは日本獣医学会各分科会にも審査を依頼(予定)
 - ③ 公表:結果は集会HPにて公開予定
- 8) 事務局ひとり言:数十年前に獣医系大学を受験した時は、当初、全く別の理系分野を志望し、併願校も獣医系とは関係ない分野でした。ある時、ふと気が付いたのが、実家が田舎の町工場だったので、工場ですら犬を飼っていて、散歩当番が子供の私の役目でした。歴代の犬たちがなんとなく病気で弱っていくのを思い出し、やっぱり、俺、獣医じゃんと気が付き(当時は関西弁)、進路変更しました。あれから、数十年がたち、研究室の学生と動物の病理診断を行うのが私の日常です。